取扱説明書

ELAN SW DENDO 150PH

このたびは、**tailwalk** の電動リールをお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。
ご使用前に、この取扱説明書をよくお読みいただき、正しくご使用ください。
また、リール同様大切に保管していただきますようお願い申し上げます。

もくじ

1．安全上のご注意 ---------- P2
2．お取扱上のご注意 --------- P3～4
3．リールのお手入れ方法 --- P5
4．主な機能と特長 ---------- P6
5．各部の名称と機能 -------- P7
6．コントロールボックスの説明 --- P8
7．ご使用前の準備
＊電源の接続方法 ---------- P9
＊ラインデータ入力方法 ------ P10～15
8．操作方法
＊船べり自動停止 --------- P16～17
＊水面０セット ---------- P18～19
＊低速一定モード ---------- P20
＊スプール交換 --------- P21～22
＊高切れ修正 ---------- P23
9．セイフティー機能 ---------- P24～25
10．故障かな？と思われた時 --- P26
11．仕様一覧 ---------- P27

1 安全上のご注意

ご使用前に必ずお読みください。

⚠ 警告



- ラインを平行巻きするレベルワインドと本体の間に指をはさまないよう注意してください。
- バッテリー、船電源を使用する場合は、所定の電圧（DC12～14.8V）以外を使用しないでください。
  所定の電圧以外を使用すると、発熱による火傷や電子部品の破損につながります。
- 電動リールの微弱な電波の影響により、補聴器やペースメーカー等の医療機器に誤作動を発生させ、動悸や目まいが起こる場合があります。
  ご使用前に、該当医療機関等でご確認ください。

⚠ 注意



- ラインが勢いよく出ている時や巻いている時は、ラインを手でつかまないでください。ラインで手や指に怪我を負うことがあります。
- 液晶部の水滴や曇りが見られる場合、誤動作でモーター制御等ができなくなる恐れがあります。
  直にご使用を止めて修理にお出しください。
- 電動リールから焦げ臭い匂いがしたり、発煙等が出た場合、直に電源を外してください。
  発火やモーター制御ができなくなる恐れがあります。
- メッキや塗装等の表面処理が剥がれた場合、その部分が鋭利になっていることがあります。
  けがをする恐れがありますので触らないでください。
- 使用中に電源が外れたり、他の原因で画面表示が消えている時にハンドルで巻上を行うと、画面表示復帰後に誤差が発生し、
  巻き込み等により竿が破損する恐れがあります。画面表示が消えていた場合は、穂先等の注意しながら巻き取ってください。
- 幼児の手の届く所では、保管、使用しないでください。
- 釣行後にお手入れをする場合やスプール交換時には、必ず電源コードを外してから行ってください。
  不意にモーターが駆動し、怪我やリールの破損の恐れがあります。
- 電源をつなぐ前に、必ずドラグを充分にゆるめてから接続してください。故障している場合、モーターが回り、仕掛けを巻き込み、
  竿を破損する恐れが」あります。



- リールの回転している部分には触れないでください。けがをする恐れがあります。
- ハンドルの逆転ストッパーが働いていることを確認してからモーターを駆動させてください。



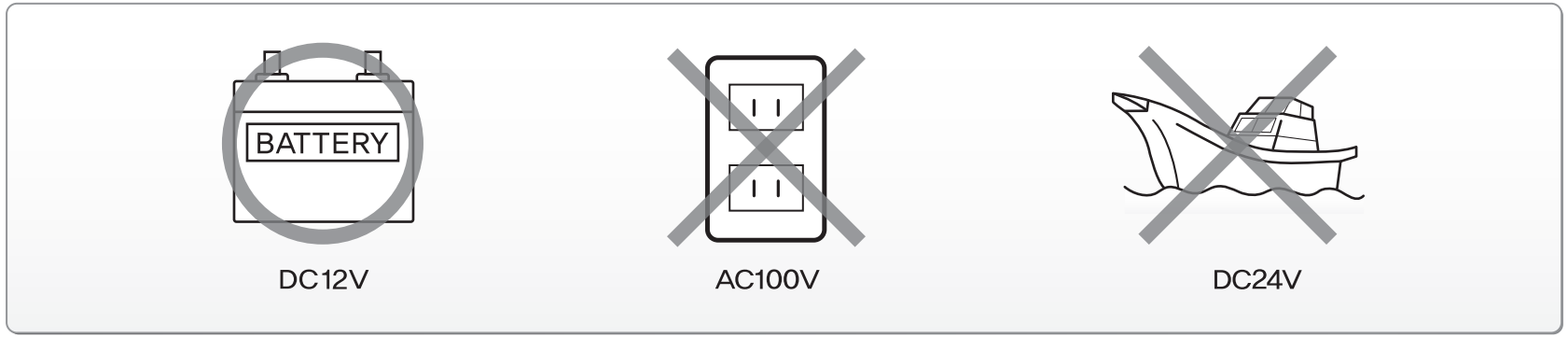
- 本体を分解したり、改造しないでください。リールの性能に不具合が生じたり、故障につながる原因となります。

2 お取扱上の注意

1 電源について

電源は、直流（DC）12 V対応です。
指定外の電源（家庭用の交流 100 V,船電源の直流 24 Vなど）は、使用できません。

- 容量の小さいバッテリーは、電圧の降下が早く、電動リールの性能を充分に発揮できないことがあります。
  10 Ah 以上のバッテリーをおすすめします。
- 船の 12V電源は、 発電機や配線の状態によって電圧が不安定になり易く、リールの保護回路が働き、安定した性能が発揮できなくなったり、動作が停止したりする場合があります。電動リール専用のバッテリーの使用をおすすめします。
- 充分に充電されたバッテリーをご使用ください。
- 端子部のサビ等で、通電不良になり正常に作動しない場合があります。サビなどを取り除いてご使用ください。



出発前に確認してください。

- バッテリーは、長時間放置されると自然放電により、容量が低下している可能性があります。
  釣行前には、必ず充電を行ってください。
- 船の電源には、電圧、接続端子形状などにより使用できないことがあります。事前にご確認することをおすすめします。

お取扱上の注意

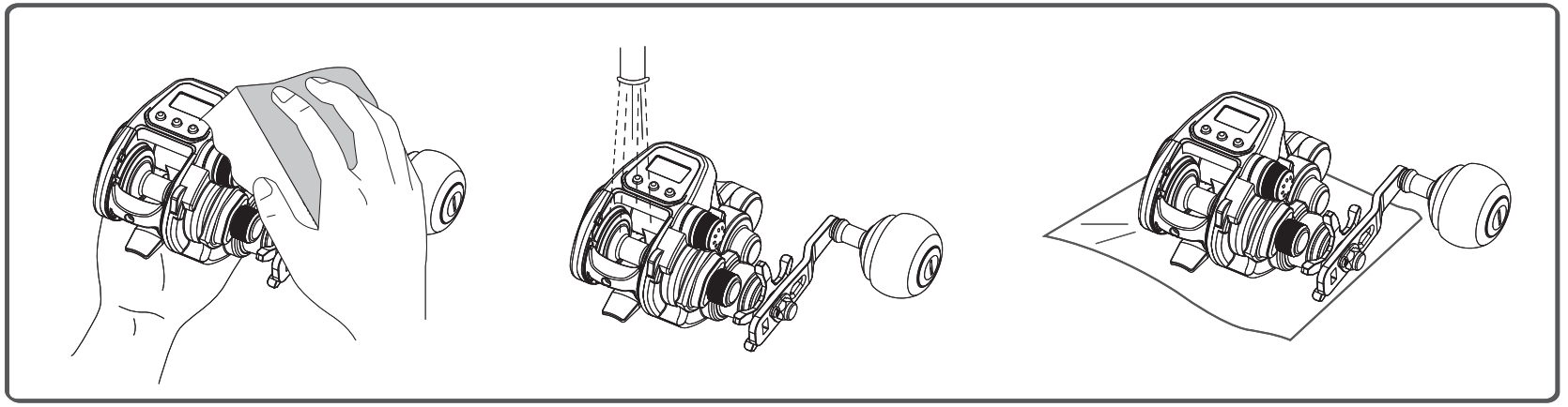
2 電源コードについて

- 電源との接続は、必ず付属の電源コードをご使用ください。
  付属（純正）以外の電源コードや接続部の改造等を行った電源コードを使用されると、
  リールが正常に作動しない場合があります。
- 電源コードは、乱暴に扱わないでください。リールに巻きつけたり、踏みつけたり、折り曲げたりすると、
  故障（断線）の原因になります。
- ご使用後は、水に浸した布で汚れを拭き取り、乾かせて保管ください。
  （水の中につけて洗うことは、おやめください。）
- コードを抜く時は、必ずコネクター部を持って抜いてください。
- コードの上に重い物を乗せたり、結んだりする行為はおやめください。

3 リール本体について

- 根掛かりした時には、竿やリールで無理にあおらないでください。布等で手を保護して糸をつかんで切るようにしてください。
- 落下等による強い衝撃を与えないようにていねいに取り扱ってください。
- 船の竿立てに収める時は、リール後部及び電源コードに、衝撃を与えないよう注意してください。
- ラインにテンション（負荷）が掛かった状態でサムバークラッチの操作を行うと破損する場合があります。

3 リールのお手入れ方法



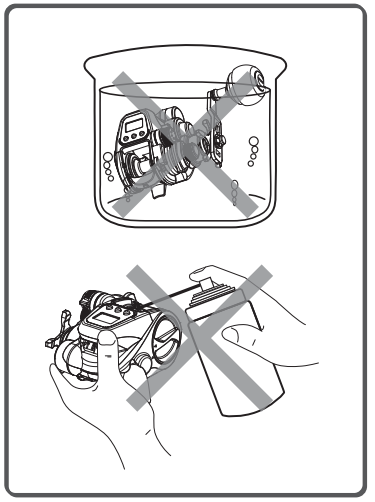
1 リール本体を洗剤を含ませた
スポンジや布等で汚れを落と
してください。

2 水をかけて洗剤と汚れを落
とします。
スプール部へも水をかけて
塩分を落とします。

3 よく水を切って、陰干しで
乾燥させてください。

! ご注意

- 洗剤は、中性洗剤をご使用ください。
- 水に浸けて洗うことは、おやめください。
- 水洗いの際、シャワー等の強い水圧で水洗いを行うと、ベアリングやサイドカバー内の油分が流出し、故障の原因となるので注意してください。
- 高温、高湿の状態で長時間放置されると、変形や強度劣化の恐れがあります。
- 洗浄後は、風通しの良い、高温・高湿にならない場所で保管してください。
- ドラグ部分には絶対オイル等を注油しないでください。ドラグ力の低下や作動不良の原因になります。
- 水抜き穴からグリースを注入しないでください。グリース等で配線の被覆を傷める事があります。
- ドラグ部への浸水及び固着防止の為、水洗いの前はドラグを締め、保管の際はドラグを緩めてください。
- コネクター部の保護のため、リールをご使用にならない時はコネクターキャップをしてください。



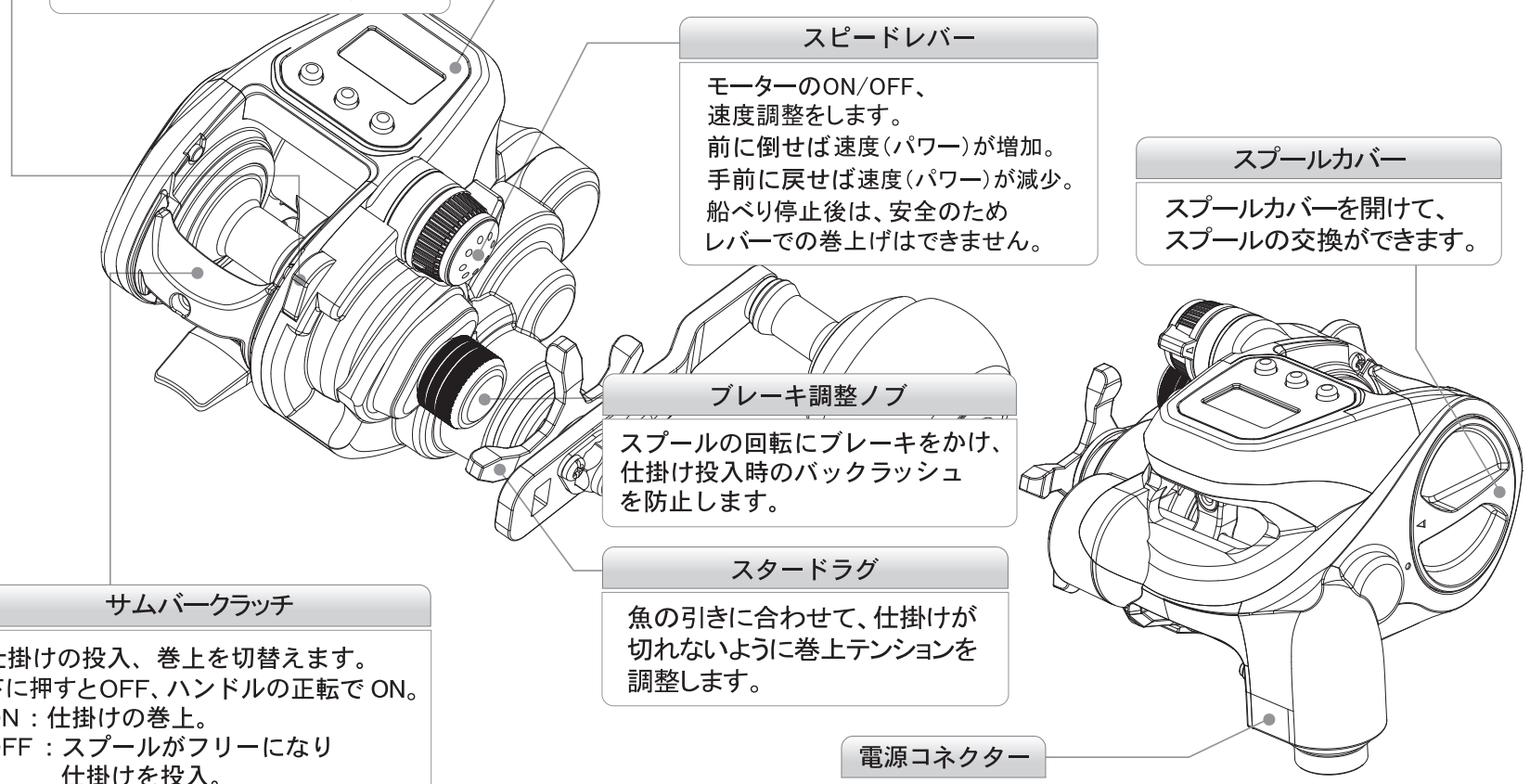
4 主な機能と特長

スピードレバー	レバー操作でモーター起動、巻上のスピード（パワー）調整が可能。
カーボンドラグ	滑り・パワー・耐久性に優れたカーボン素材を採用。
チョイ巻	スイッチを押している間、モーターが回転し、糸ふけ取りや誘いに便利。（変速は出来ません）
フリースプール	クラッチOFFで駆動部との完全分離。軽い仕掛けも簡単に底取り可能。
フリッピング機構	サムバークラッチを押した時だけスプールフリーになるフリッピング機構を搭載。
船べり自動停止	竿や仕掛けに合わせて船べりでの停止位置を設定可能。
水面0セット	水面の位置を　0mに設定。より正確な棚合わせが可能。
高切れ修正	道糸が切れた場合、ラインデータの修正が可能。
スプール交換	簡単な操作でスプールが交換可能。魚種別、高きれ時に便利。
低速一定モード	低速巻上時に一定速度で、巻上できるようモーターパワー調整。

ご注意

● フリッピング機構をモーターON時には絶対に使用しないで下さい。ギアに負荷がかかり、破損する場合があります。

5 各部の名称と機能



フリッピング機構切り替えスイッチ

フリッピング機構を
ON/OFFするスイッチです。

コントロールボックス

スピードレバー

モーターのON/OFF、
速度調整をします。
前に倒せば速度（パワー）が増加。
手前に戻せば速度（パワー）が減少。
船べり停止後は、安全のため
レバーでの巻上げはできません。

スプールカバー

スプールカバーを開けて、
スプールの交換ができます。

ブレーキ調整ノブ

スプールの回転にブレーキをかけ、
仕掛け投入時のバックラッシュ
を防止します。

スタードラグ

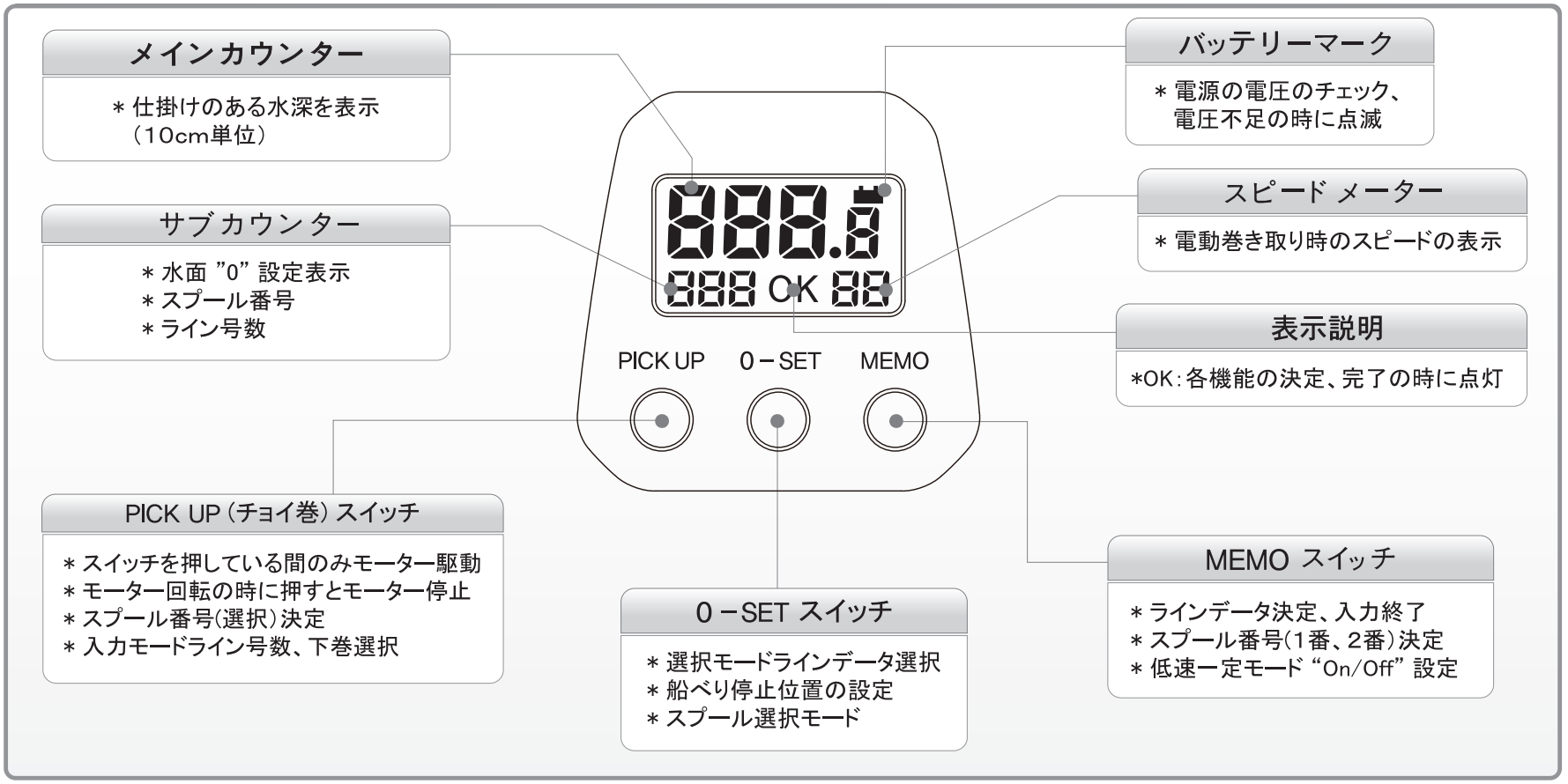
魚の引きに合わせて、仕掛けが
切れないように巻上テンションを
調整します。

サムバークラッチ

仕掛けの投入、巻上を切替えます。
下に押すとOFF、ハンドルの正転で ON。
ON ：仕掛けの巻上。
OFF ：スプールがフリーになり
仕掛けを投入。

電源コネクター

6 コントロールボックスの説明



ご注意

- 図では、説明のために液晶画面を全体点灯状態にしています。
- カウンター表示は－10度以下もしくは60度以上の場合、液晶の特性上文字が見えにくくなる事があります。

7 ご使用前の準備

電源との接続

● 電源コードのクリップをバッテリーに接続してください。
赤クリップを（＋）側端子へ、黒クリップを（－）側端子に接続します。(図１)

● 電源コードのプラグ部の凹部とリール本体のコネクターの凸部を合わせて奥まで差し込み、ネジリングでしっかりと締めてください。(図２)

●-1 正しく接続が行われると、セッティング画面が表示され、「図３」の表示となります。
（デモモード ：ラインデータが未入力の状態）

●-2 ラインデータの入力が行われている場合は､セッティング画面の後、「図４」の表示になります。

● 「図4」の状態で立ち上がった時､バッテリーマークが 点滅していますが、電圧がOKであれば、 5 秒後に消去します。
バッテリーマークが消去しない場合は､バッテリーの 電圧が低下しています。
交換するか、充電を行ってください。

● 「図４」(ラインデータ入力済)の状態で立ち上がった場合は､安全のため、船べり停止水深表示(5m)までは、スピードレバー での巻上はできません。PICK UP スイッチでの巻上は可能です。

＊ 船べり設定をしていない場合は船べり停止水深表示は５ｍに設定されています。

＊ ５ｍ以上の水深表示にすれば、スピードレバー での電動巻上が可能です。

図１

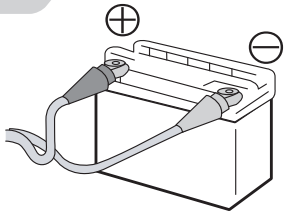


図２

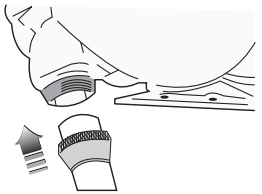
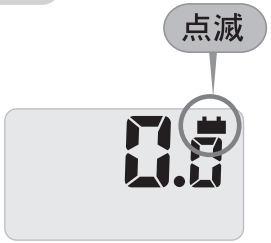


図３



図４



ご注意

● 一度電源に接続すると､バックアップ機能が働きます。5分以内再接続の場合は､セッティング画面は表示されませんが、問題ありません。

ご使用前の準備事項

ラインデータの入力方法－1（スマート入力モード）

＊スマート入力モードとは、ラインの太さ、長さに関わらず入力できる糸巻き設定です。

- ラインをレベルワインドに通し、スプールに結んでください。
- 電源の接続を行い「図5」のような画面表示になったことを確認ください。
  （ラインデータが入力されている時は、表示が異なります）
- 0－SET と MEMO スイッチを同時に3秒押してください。「図6」の表示になります。
- 0－SET スイッチを5回押して、学習モードにします。（図7）
  （ピッ音有り・入力画面の切り替えについては14ページの図15を参照）
- ラインを5m分ハンドルで巻いて、MEMO スイッチを2秒間押してください。（図8）
- スピードレバーで残りのラインを巻き取ってください。
  （ラインを全部巻き込まないように注意してください）
- ラインを巻き終えたら、MEMO スイッチを2秒間押してください。
- ラインを10m分引出して、MEMO スイッチを2秒間押してください。
- セッティング画面が表示された後、釣りモードになり、「10.0」が表示され、学習は完了です。
- 引き出した10m分のラインを巻き取ってください。（ハンドルかチョイ巻で巻いてください。）

図5



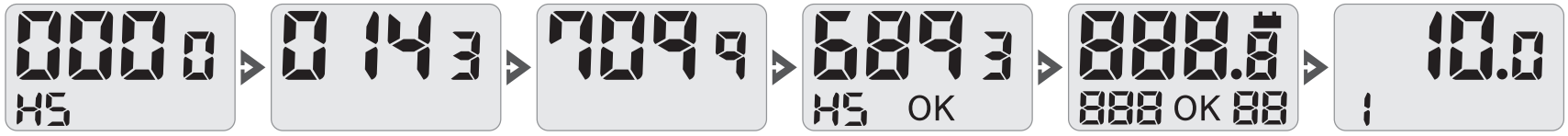
図6



図7



図8



5m巻いて MEMO スイッチを2秒押す（ピッ音）

巻き終えたら MEMO スイッチを2秒押す（ピッ音）

10m引き出して MEMO スイッチを2秒押す（ピッ音）

セッティング画面

入力完了

ご使用前の準備事項

ご注意

- ラインを巻く時には、1～1．5kg程度の負荷で巻いてください。負荷が一定でない場合は、カウンター誤差が大きくなります。
- スマート入力モードの設定時に最初の5mと最後の10mの設定が不正確である場合、カウンターの誤差が大きくなります。
  正確な設定のために1m毎のマーキングラインのご使用をお勧めします。
- 操作中、間違いがある場合にはもう一度 MEMO スイッチを押して終了させた後、最初からやり直してください。
- 水深表示の精度は±3%以内になっていますが、糸巻きの状態やラインの伸縮などで大きく誤差が発生する場合もあります。
- MEMO スイッチを押して入力完了した時に画面表示が下記の図のようになった場合、
  入力方法のミスやこコントロールボックスのエラーが予想されます。
- 「-CE-」、「-SE-」のエラー表示の場合は修理が必要です。購入した販売店に修理依頼をしてください。



コントロールボックスエラー



ライン長さ不足



スプール回転不良

ご使用前の準備事項

ラインデータの入力方法 −2（下巻）

＊ 下巻き後にラインデータを学習させる時に利用します。

- 下巻き用のラインをレベルワインドに通し、スプールに結んでください。
- 電源の接続を行い「図9」のような画面表示になったことを確認ください。
  （ラインデータが入力されている時は、表示が異なります。）
- 下巻き用のラインを巻いてください。
- 下巻き用のラインに上巻き用のラインを結んで下さい。
- 0−SET と MEMO スイッチを同時に3秒押してください。「図10」の表示になります。
  0−SET スイッチを5回押して、学習モードにします。（図11）
- 上巻き用のラインを5m分ハンドルで巻いて MEMO スイッチを2秒間押してください。（図12）
- スピードレバーで残りのラインを巻き取ってください。（ラインを全部巻き込まないように注意してください）
- ラインを巻き終えたら、MEMO スイッチを2秒間押してください。
- ラインを10m分引出して、MEMO スイッチを2秒間押してください。
- セッティング画面が表示された後、釣りモードになり、「10.0」が表示され、学習は完了です。
- 引き出した10m分の糸を巻き取ってください。（ハンドルかチョイ巻で巻いてください。）

図9



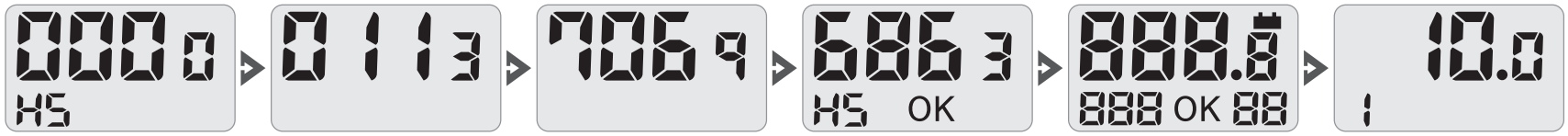
図10



図11



図12



5m巻いて MEMO スイッチを2秒押す（ピッ音）

ラインを巻き終えたら MEMO スイッチを2秒押す（ピッ音）

10m引き出して MEMO スイッチを2秒押す（ピッ音）

セッティング画面

入力完了

ご使用前の準備事項

ご注意

- 下巻きをする場合は、予め巻いた上でスマート入力モードをご利用下さい。
- ラインを巻く時には、1～1．5kg程度の負荷で巻いてください。負荷が一定でない場合は、カウンター誤差が大きくなります。
- スマート入力モードの設定時に最初の5mと最後の10mの設定が不正確である場合、カウンターの誤差が大きくなります。
  正確な設定のために1m毎のマーキングラインのご使用をお勧めします。
- 操作中、間違いがある場合にはもう一度 MEMO スイッチを押して終了させた後、最初からやり直してください。
- 水深表示の精度は±3%以内になっていますが、糸巻きの状態やラインの伸縮などで大きく誤差が発生する場合もあります。
- MEMO スイッチを押して入力完了した時に画面表示が下記の図のようになった場合、
  入力方法のミスやこコントロールボックスのエラーが予想されます。
- 「-CE-」、「-SE-」のエラー表示の場合は修理が必要です。購入した販売店に修理依頼をしてください。



コントロールボックスエラー



ライン長さ不足



スプール回転不良

ご使用前の準備事項

別売替スプールの「S=PE1号300Mの浅溝タイプ」ラインデータ入力方法

- ラインデータの入力方法-1(スマート入力モード)での入力方法で利用できます。
  また、下記の入力されたラインデータを利用できます。
- S=PE1号300mの浅溝タイプ用の4つのラインデータが用意されてます。
  ＊SW150PH標準スプール（PE2号200m深溝スプール）は、このプログラムを利用できません。

PE0.8号 300m　PE1号 300m　PE1.5号 150m　PE2号 100m

- ラインをレベルワインドに通し、スプールに結んでください。
- 電源の接続を行い「図13」のように表示さになったことを確認ください。
  （すでにラインデータが入力されている場合、表示が異なります。）
- 0－SET スイッチと MEMO スイッチを同時に3秒間を押してください。
  「図14」のように表示されます。
- 0－SET スイッチを押して巻こうとしているラインの号数と長さを選択してください。
  スイッチを押すだびに表示が変更します。（図15）

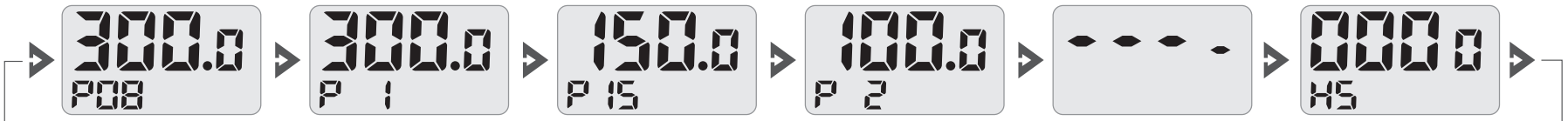
図13



図14



図15



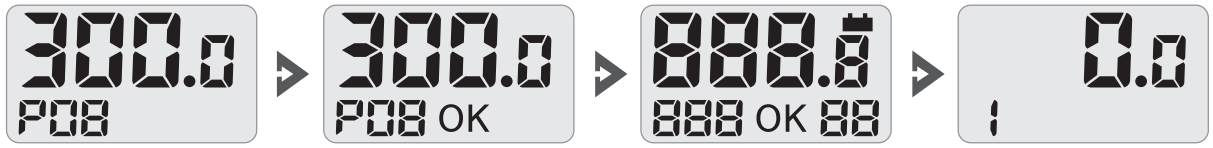
PE0.8号 300m　PE1号 300m　PE1.5号 150m　PE2号 100m　デモモード　スマート入力モード

ご使用前の準備事項

- 巻こうとする ラインと選択したラインデータが一致するのかを確認してから、
  スピードレバーを操作してラインを巻いてください。
- 選択されたラインデータの15m手前で自動的にモーターが停止します。
  停止した後には、ハンドルもしくは PICK UP スイッチで残りのLineを巻いてください。
- ラインを巻き終わったら、MEMO スイッチを押して入力を完了します。
  画面表示が「図16」のように変化して入力完了となります。

図16

●例：PE0.8号を
300m巻く場合。



巻き終了　MEMO スイッチを押す　セッティング画面　入力完了

ご注意

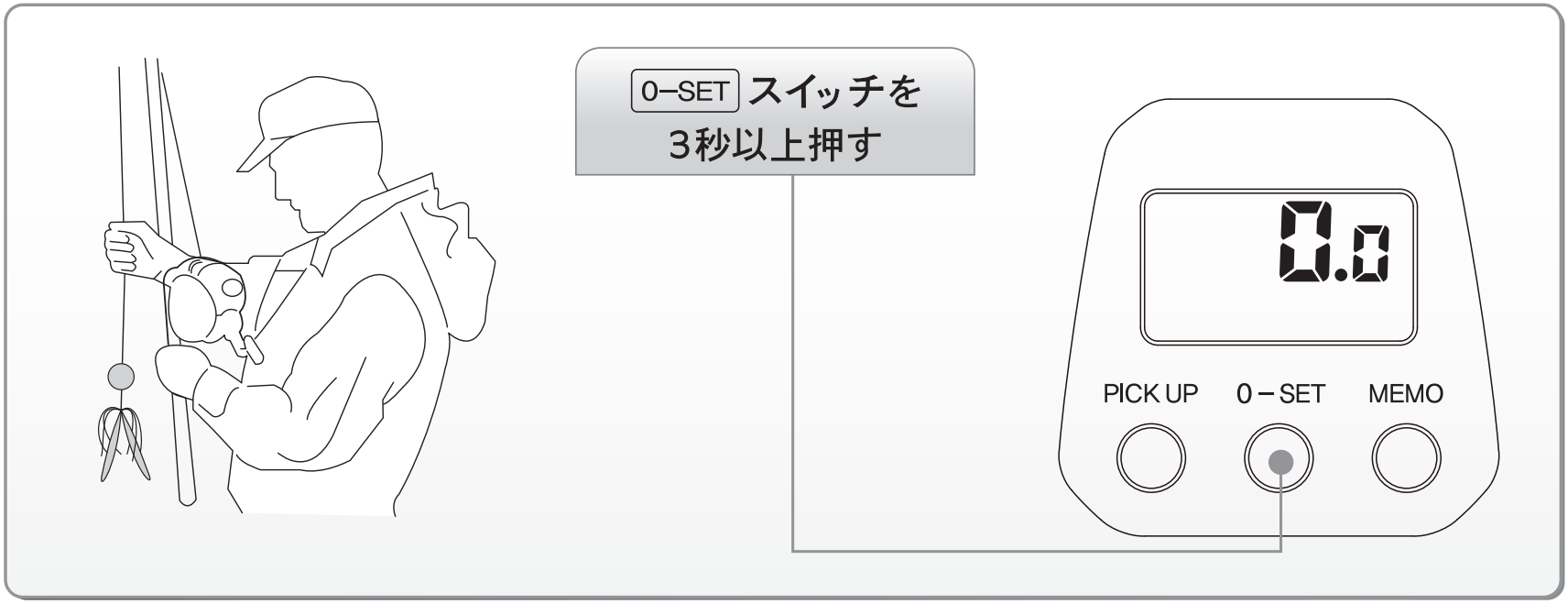
- ラインを巻く時には、1～1．5kg程度の負荷で巻いてください。
- デモモード選択画面で MEMO スイッチを押すと設定されているデータが消えてデモモードになります。
- 操作中、間違いがある場合には一度 MEMO スイッチを押して終了させた後、最初からやり直してください。
- 水深表示の精度は±3%以内になっていますが、糸巻きの状態やラインの伸縮などで大きく誤差が発生する場合もあります。

8 操作方法

1 船べり自動停止

- 取込時、仕掛けが手元の高さになるように電動巻取りの停止位置を設定します。
- 停止位置の5m手前から1mおきにアラームでお知らせします。

操作手順 ①：リールから糸を出して、仕掛けをセットした後、電源を接続します。
操作手順 ②：仕掛けが手元にくるようにラインの長さを調節します。



操作方法

操作手順 ③ : 0－SET スイッチを3秒以上押します。
アラームがなり、画面表示が「図17」のようになれば、停止位置の設定完了です。
＊この時、「−S−」と「OK」が点滅します。水面0設定を続けて行うことができます。
＊「OK」表示は、5秒間点灯後消去します。

図17



ご注意

- 船べり設定を行わずに仕掛けの投入を行うと、船べり停止位置は５ｍになります。
- ラインに掛かる負荷により糸が伸縮して停止位置がずれることがあります。その際には再設定を行ってください。
- 「−S−」点滅中に水面０設定を行わずに仕掛けを投入して釣りをおこなっても問題ありません。
  カウンター表示10.0(10m)以上で自動的に「−S−」は消去します。

操作方法

2 水面０設定

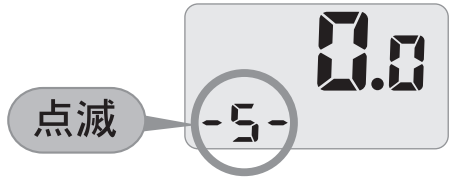
● 正確な棚取りを行うために、水面の位置を「０」として設定します。

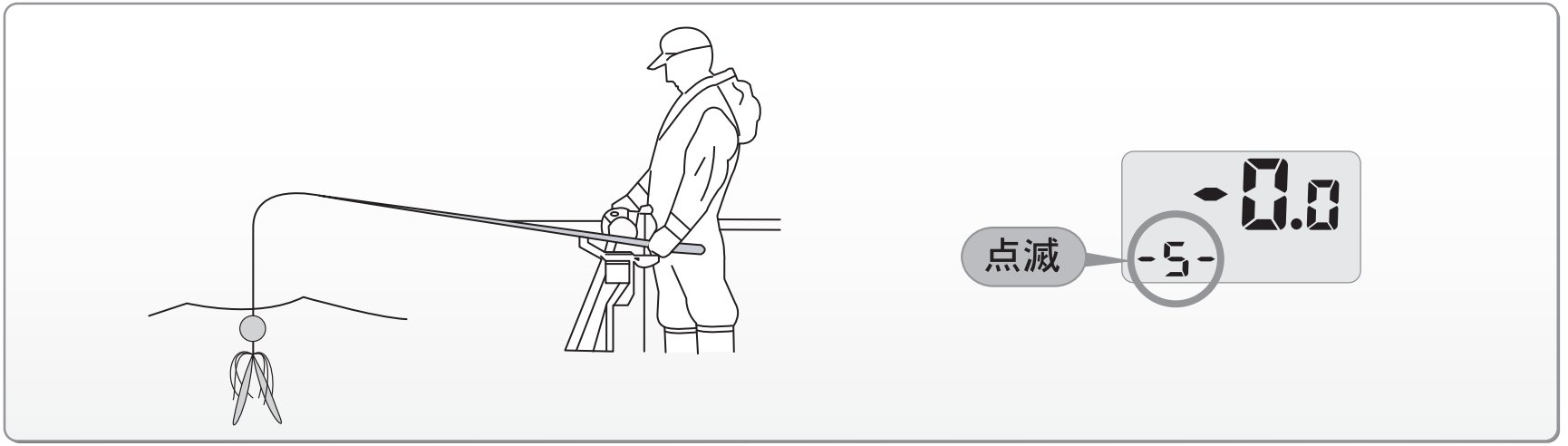
＊船べり停止位置の設定完了時、画面表示に「−S−」が点滅しています。（ 図18）

操作手順 ①： 竿を前に出し、仕掛けが水面にくるようにハンドルで調整します。

＊仕掛けを水面まで巻き上げると、水深表示は「−０.０」になります。

図18





操作方法

操作手順 ② ： MEMO スイッチを押してください。その位置が水面０位置になります。
画面表示の「–S–」が点滅から点灯に変わり、「OK」表示が点灯。（図19）
＊水面０、OK表示は、メインカウンター「10.0」以上で自動的に消去されます。

図19



ご注意

- 水面０の位置は、船べり停止位置ではありません。

操作方法

3 低速一定モード（速度表示1～6の区間に適用）

● 低速区間で設定された定速を保持するようにモーターパワーを自動的に調整する機能
（低速巻上げ時に負荷がかかっても一定の速度で巻き上げる機能）

切替方法 ①：MEMO スイッチを5秒間押す（工場出荷時には、「OFF」になっています。）

＊「図20」のようにサブカウンターに「S」表示されると「ON」になります。（ピッ音あり。）

＊低速一定モードは速度表示1～6の区間に適用されてます。

図20



「ON」状態

図21



「OFF」状態

削除方法 ②：MEMO スイッチを5秒間押すと低速一定モードはが解除されます。（ピッ音あり。）

＊「図21」のように「S」表示が消去されます。

ご注意

● ドラグ設定が弱すぎると、低速一定モードが正常に機能しない場合がありますのでご注意ください。

操作方法

4 スプール交換

● あらかじめライン入力してあるスプールに交換が出来ます。
操作手順 A ① 電源コードが外れている事を確認します。
② スプールカバーを矢印方向（反時計回り）に回転させて、スプールカバーをはずします。（図22）
③ スプールを引出し、交換するスプールを入れます。（図23）
④ スプールが奥まで入ったことを確認して、スプールカバーを装着し回転（時計回り）させます。（図24）
＊カチッとクリック音をさせて確実に装着してください。

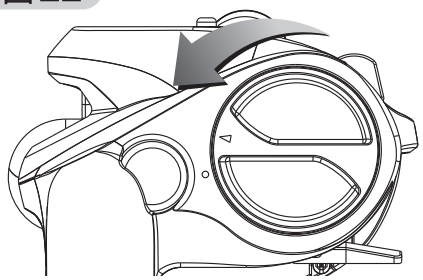
図22


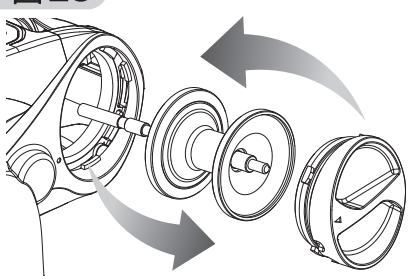
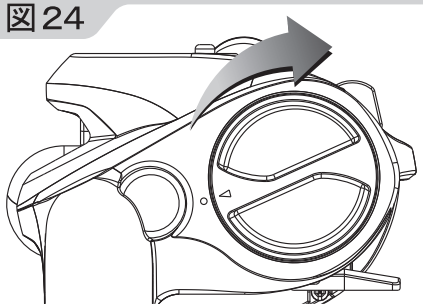
図23


図24


操作方法

● 続いてリールにスプール番号を認識させます。

操作手順 B ① 電源コードを接続し、液晶部分に電源投入時のカウントダウン画面が表示されている時、0－SET スイッチを押し続けます。

② 「図25」のように「SPL　1」という表示になればOKです。（ピッ音有り）

③ PICK UP スイッチを押し、装着したスプールの番号を選択します。

④ スプール番号選択後、MEMO スイッチを押します。（ピー音あり）

⑤ 「OK」が点滅後、初期画面が始まりスプール選択が完了します。（図25）

⑥ 初めてスプール選択を行った場合は、選択後にラインデータ入力を行ってください。（10～15ページを参照）

● 対象魚に合わせたスプール（ライン）に交換することができます。（1台で色々な魚種に対応）

操作手順 C ① まず、電源からクリップを外し、電源をOFFにします。

② 21ページの操作手順Aに沿ってスプールを交換してください。

③ MEMO スイッチを押した状態で電源を接続し、カウントダウン画面表示中に 0－SET スイッチを押し続けてください。

④ その後は、操作手順Bに従って、スプール選択を実施ください。

図25



ご注意

● テンションノブを緩めた状態でスプール交換を行ってください。強く締め付けた状態ではスプールの装着が困難になります。

● 装着されたスプールと選択したスプール番号を間違えると、水深表示の誤差が大きくなります。

● スプール交換時には、スプールやスプールカバーの落下、紛失にご注意ください。

● スプールの番号とラインデータの情報は、忘れないようメモを残して保管しておいてください。

操作方法

5 高切れ修正

● 高切れにより道糸が切れた場合、ラインデータの修正が可能です。

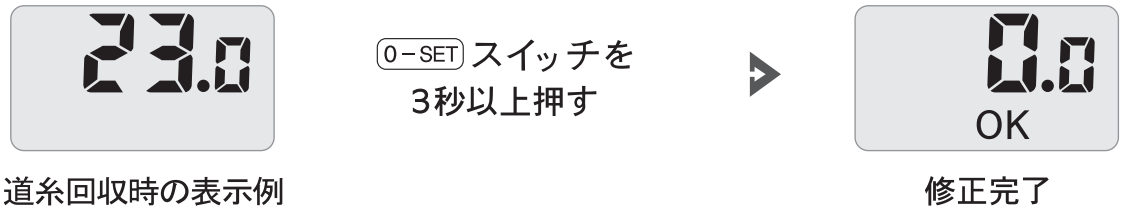
＊ 高切れ修正は、10ｍ以上の道糸が切れた場合に行います。

操作手順 ①：道糸を回収し、仕掛けを結びます。

操作手順 ②：0－SETスイッチを３秒以上押してください。(修正完了)

＊ アラームが鳴って、メインカウンターが「O. O」になります。(図26)

図26



道糸回収時の表示例　　修正完了

＊ 高切れ修正後、船べり停止位置 水面０ の再設定を行ってください。

ご注意

● 高切れ修正後、船べり停止位置の設定を行わないで仕掛けを投入すると、船べり停止位置は、５ｍになります。

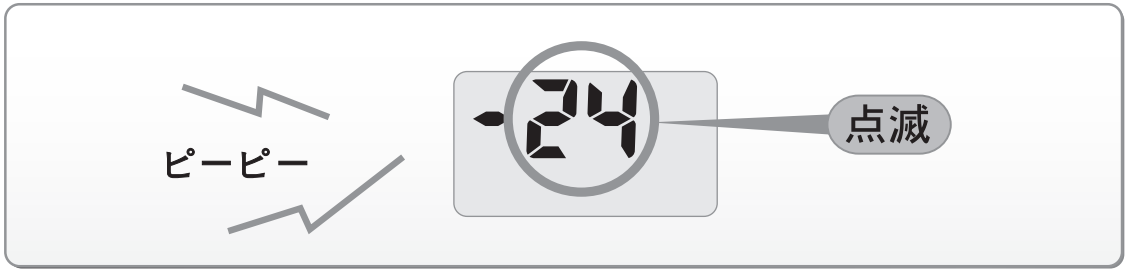
9 便利な機能（セーフティ機能）

1 バッテリー（電源）チェック

- 電源接続時にバッテリー（電源）の電圧をチェックします。
- 電圧がOKであれば、点滅しているバッテリーマークが5秒後に消去します。
- 電圧が低い場合は、バッテリーマークは点滅のままです。
  ＊バッテリーを交換するか、再充電を行ってください。



- 電源の電圧がリールの使用可能範囲より高い場合、アラームと画面表示で警告します。その電源の使用をおやめください。



便利な機能（セーフティ機能）

2 メモリーバックアップ

● 釣りをしている時、不意にコードやクリップが外れても安心です。約5分間は、水深情報等のデータは記憶されています。

ご注意

● 電源が外れた状態でラインの放出や巻取りを行わないでください。カウント誤差の原因となります。

3 過負荷制御（ブレーカー）

● リールの巻上速度(巻上力)に対して過負荷が掛かり、スプールの回転が停止（連続で約30秒間）した場合、
モーター保護のためブレーカーが作動し、モーターを停止します。アラームがなり画面表示が点滅します。

● スピードレバーを一度OFF位置に戻せば、巻上げは復帰します。

● 最大速度でブレーカーが連続3回作動した場合、モーターの起動ができなくなります。
電源コードを抜いて10分以上経過後、再接続して下さい。

ご注意

● 巻上げを復帰させる場合、ラインにかかっている負荷を軽減させた状態で行ってください。

10 故障かな？と思われた時は

● お問い合わせ、修理を依頼される前に下記の項目をご確認ください。

症状	考えられる原因	確認･対処方法
液晶画面の表示が出ない。	● 電源コードが正しく接続されていない。 ● 電源コードの断線。 ● バッテリーの電圧不足。	● 正しく接続してください。 ● 販売店へご相談ください。 ● 充電もしくは他のバッテリーでご確認ください。
カウンター表示の誤差が大きい。	● ライン設定の誤り。 ● ラインの伸びによる。	● 再度、ライン入力を行ってください。
電動での巻上げができない。	● 表示が０になっている。 ● バッテリーの容量不足。 ● 接続端子が錆びている。 ● 船の電源を使用している。（配線等の関係で、電圧降下） ● 電源コードプラグ部の接触が悪くなっている。	● 船べり停止距離以上の水深　表示にしてください。 ● 充電もしくは、他のバッテリーで確認ください。 ● 電源端子ならびに、コードクリップ部の錆びを落として確認ください。 ● 専用バッテリーでご確認ください。 ● 電源コードを交換して確認してください。
クラッチが切れない（サムバークラッチがOFFにならない）	● フリッピング機構がONになっている	● フリッピング機構を切替スイッチでOFFにする

＊ 以上の確認を行っても、正常に戻らない場合は、故障内容をできるだけ詳しく書いていただき、**お買い求めの販売店に修理依頼をお願いします。**

＊ 修理依頼の際には、リール本体と電源コードを一緒にお預け下さい。

11 仕様一覧

<table>
<tr><td colspan="2">ギヤ比（手動時）</td><td>自重</td><td>最大ドラグ力</td></tr>
<tr><td colspan="2">5：1</td><td>435g</td><td>6kg</td></tr>
<tr><td colspan="2">糸巻量（PE）</td><td rowspan="2">ベアリング数</td><td rowspan="2">電源電圧</td></tr>
<tr><td>標準スプール</td><td>別売替スプール</td></tr>
<tr><td>1号 − 400m</td><td>1号 − 300m</td><td rowspan="3">7+2</td><td rowspan="3">DC12V～14.8V</td></tr>
<tr><td>1.5号 − 250m</td><td>1.5号 − 150m</td></tr>
<tr><td>2号 − 200m</td><td>2号 − 100m</td></tr>
<tr><td colspan="2">実用巻上力</td><td>最大巻上速度（無負荷）</td><td>実用巻上速度（1kg負荷）</td></tr>
<tr><td colspan="2">4kg</td><td>150m/min</td><td>120m/min</td></tr>
<tr><td colspan="2">JAFS基準巻上げ力</td><td colspan="2">JAFS基準速度</td></tr>
<tr><td colspan="2">4.5kg</td><td colspan="2">150m/min</td></tr>
</table>

＊JAFS基準：日本釣り用品工業会規定、電源電圧13Vにおける測定値

tailwalk
uniting various waters
tailwalk

[株式会社 エイテック 東京営業本部]
〒173-0012　東京都板橋区大和町42-11
TEL 03-3963-8451（代）　FAX 03-3963-0776
e-mail tokyo@alphatackle.com